

平成27年度 事業報告



玉野総合医療専門学校

21世紀の医療・保健・福祉のスペシャリストを育成します。



1. 教育面については、国家試験の全員合格を目標に全学を挙げて取り組みます。また同時に、少子高齢社会を迎えた今日に的確に応えられる人材の養成に取り組みました。
2. 研究面については、教員の研究活動を積極的にサポートし、教員個々のスキルアップを図り、学生教育の充実に寄与しました。
3. 教育活動、研究活動並びに地域貢献の更なる充実に向けた改善・改革を推し進めました。
4. 産学官連携を目指し、玉野市との連携を充実させるとともに加計学園の一員として産学官連携活動へも積極的に参画しました。

玉野総合医療専門学校 校長 平井 義一

教学の充実

■非常勤講師の招へい

保健・医療・福祉の最前線で行われている最新の医療を学ぶために第一線で活躍されている医師、看護師、療法士などのスペシャリストを招き、専門分野の授業を行っています。毎年3月には専任教員と非常勤講師が一堂に会す連絡会議を開催し、より充実した講義内容とするために関連科目の講義内容のすり合わせや教育方法についてのディスカッションを行いました。

■FD推進

多様な学生に対応するための教育力向上を目指し次の活動を行いました。具体的には、①教員自身で行う自己点検評価、②学生による授業アンケートの実施（前期・後期）、③校長、副校長、事務長、学科長による授業観察を実施しました。

また、自己研鑽できるよう個人研究費を配分し、学会への参加、論文発表、セミナーへの参加を促進しました。

研究の推進

■研究活動の推進

本校では、教員の研究活動を推進しています。保健・医療・福祉のスペシャリストを養成する学校としての主たる目的は教育活動であることは言うまで

もありませんが、同時に研究活動を通じて最新の研究成果を学生に還元することも重要と考えます。そのため、学校全体あるいは学科の教育活動とのバランスを考慮し、可能な限り研究活動を行える環境を整えサポートしました。

■学内紀要

昨年に引き続き紀要を作成しました。例年、2年に1回のペースで発行していましたが、研究を奨励し、研究成果を発信する機会を設けるために昨年に引き続き今年度も発行しました。

学生支援

■修学支援

・入学前教育の実施

早期に合格した学生を対象に入学前教育を実施しています。高校での学習の妨げにならないよう配慮しながら、入学後スムーズに授業に参加できるよう導入教育を行っています。導入教育には十分に吟味した市販のテキストを採用し、入学までの間、継続して学習する習慣を身につけるため、定期的に課題を提出させ添削する方法を採用しています。学科によっては読書の習慣が乏しい学生の現状を踏まえ、読書も課題の一つとしている場合もあります。

・リメディアル教育の充実

新入生の学力を把握するために前期の授業が始まる前に基礎学力試験を行っています。試験の結果を踏まえ、各学科で必要となる基礎学力と学生個々の学力差を確認し、個々の学力に応じたプログラムによるきめ細かなリメディアル教育を実施しています。

■国家試験対策の強化

・効率的な学習方法、学習習慣の指導

入学後、早期から効率的な学習方法や継続して学習を行う習慣を身につけることの大切さについての指導を行いました。

・学習スペースの提供

学生がいつでも自主学習ができるよう、自習室を

始め、図書館、学生ホール、カフェテリアなどを開放しました。

・朝学

保健看護学科、理学療法学科では、4年生を対象に後期から朝学を実施しました。1時限目が始まる1時間前に全員が登校し勉強を行い、国家試験が行われる時間帯に最大限の力を発揮できるよう夜型になりがちな生活習慣を改善し、朝型にするために行いました。

・基礎科目の強化

医療系の専門学校では人体の骨格、筋肉の名称や働きなど必ず覚えなくてはならない基礎となる科目があります。専門分野の学習に入る前に課題や補習などにより徹底した指導を行いました。

■生活支援

・コーディネーター制度、担任制度の導入

本校では、クラスに担任制度を導入しています。保健看護学科では、1学年に2名のコーディネーターを配置し、実習指導で手薄になった際にもサポートができる体制を整え実施しました。

また、介護福祉学科、理学療法学科および作業療法学科では担任制を導入しきめ細かなサポートを実施しました。

・カウンセリングの実施

外部からスクールカウンセラー並びに診療所勤務の現役の心理士を招き、定期的にカウンセリングを行いました。カウンセリングは事前予約制とし、教室から離れた場所にカウンセリングルームを設けるなど学生のプライバシーに配慮し、学生が相談しやすい環境を整備しました。

・スクールバスの運行

スクールバスを岡山駅西口～本校間、倉敷駅～茶屋町駅～本校間を運行しました。平成26年度に引き続き、遠方から通学する学生のサポートに加え、動く広告塔として運行を継続しました。

■就職支援

・求人情報の開示

教員室前に、全国各地から届いた求人情報を開示

し、生徒がいつでも閲覧できる環境を整えました。

・個別就職相談

各学科で就職担当者を決め、学生の希望、学習状況などを鑑み、個別に就職相談に応えました。

・就職ガイダンスの実施

保健看護学科では、1年次から4年次へと段階を踏んだガイダンスを実施し、入学後から就職に対する意識付けを行いました。

■その他

・国際交流の実施

学校法人加計学園と教育交流協定を締結しているアメリカ ライト大学、同 フィンドリー大学、ブラジル パラナ・カトリナ大学、同 パラナ連邦大学から訪日文化研修団を受け入れ、学生主体による交流会を実施しました。

主な取り組みとして英語による学科紹介、日本の文化体験として餅つき体験などを行いました。最後にソーラン節を全員で踊り、同世代の外国の学生と接することで、国際理解・協力の一端を経験しました。

・海外研修の実施

9月3日から約10日間、アメリカ研修を実施しました。

学生3名と引率教員1名で研修団を結成。研修はアメリカ合衆国の首都ワシントンDCで文化体験から始まり、シェネンドア大学（ウィンチェスター市）での研修、ホームステイ体験、後半は世界の経済の中心地であるニューヨークの視察。

・教育・進路懇談会の実施

学校と家庭を結ぶ架け橋として「教育・進路懇談会」を実施しました。1、2年次生を対象とした懇談会を9月に、3、4年次生を対象とした懇談会を11月に行い、学校と保護者がそれぞれの環境下での学生の現状について連絡を取り合うことで、学生の変化を早期に把握し、学校、保護者と連携した適切な指導に役立てました。

社会連携・社会貢献

■地域貢献の推進

玉野市と連携協力し、市民向けのアカデミックな公開講座をはじめ生涯教育に関する出張講義、由加山朔日祭での講話、地元の中学生、高校生を対象とした講義や模擬授業を積極的に実施しました。また、たまの・港フェスティバルや玉野まつりなど地域のイベントへも積極的に参加し、地域になくはない存在として貢献しました。

■市民向け講座の実施

毎年3回公開講座を実施しました。玉野市民等の熱意に対して医療・保健・福祉分野の情報を幅広く積極的に提供しました。

今年度は、「あなたらしく生きるために」をテーマに、10月3日の校長による基調講演を皮切りに、『がん』になった時の心構えなど3回の講座を実施しました。毎年この講座を楽しみにしている多くの方々のために、今後も継続して実施します。

■玉野市内の行事への参加

玉野市最大のイベント「たまの・港フェスティバル(5月)」に参加し、血圧、脈拍、肺活量などの測定や脳年齢チェック（作業療法学科）などの健康増進体験ブースを出店しました。

また、玉野の中心地で行う盆踊り大会「かつからか祭り(8月)」では、今年度は約40名の学生並びに教職員が踊り連に参加しました。

さらに、学友会主催の学校祭「優勇祭(10月)」では、前夜祭と優勇祭の二日間日頃の厳しい勉強を忘れ、趣向を凝らした出し物、ミスコンや出展などで盛り上がりました。

1月に開催する「鏡開き」に市民団体等の参加を呼びかけ、多くの市民が来校してもらえるようにしました。

内部質保証

■自己点検・評価

・教職員のFD・SD活動

加計学園本部主導による自己研鑽、検証制度を実施しています。PDCAサイクルによる目標、実行、検証、改善について自己点検・評価を実施することで学生への教育力向上に役立てました。

また、研修会への積極的参加も促し、個々のスキルアップを図りました。

・授業アンケート

前期、後期の授業において学生による授業アンケートを実施しました。アンケート項目は、講義をする側を一方的に評価するだけでなく、学生自身の授業に臨む姿勢に対しても自己評価する項目もあり、双方向で検証ができる内容となっています。

・学校評価の検証

学校全体の自己点検評価を行いました。評価項目は文部科学省が取り組んでいる職業実践専門課程の申請に必要な学校評価項目を採用しました。なお、評価結果はHPで公開します。

■教員授業参観の実施

・教育力向上への取組

専任教員を対象に授業観察を実施しました。授業の方法や工夫などについて、客観的に評価するもので、校長以下副校長、学科長、事務長が観察を行いました。

工夫されている授業については、広く紹介し、工夫が必要な授業は、直接該当者に伝え、教育力の底上げを図ります。

その他の取組等

■サークル活動の支援

・学友会活動の奨励、多目的な活動支援の実施

本校は、専門学校としては稀な広いグラウンドと体育館を有しています。これらの設備を学生が活用できるよう部活動を奨励しています。その成果により、岡山県の専門学校各種学校交流スポーツ大会で総合準優勝の栄誉を手に入れました。

■同窓会との連携強化

・在校生、卒業生との交流

実際の病院・施設の状況や就職試験の内容など、就職した卒業生から生の情報収集やアドバイスを受けることができる就職懇談会を実施しました。卒業生の話しを聞くことで、就業に対する不安を取り除き、意識を高める取り組みを行っています。

また、同窓会総会と同じ日程で行うことで、同窓会との連携も図っています。

学生の受入

■多様な入試制度の実施

多様な価値観を持った方々を受け入れるために、平成26年度に引き続き、多様な方法による入試を実施しました。また、岡山県以外からの入学希望者に応えるために地方会場も設けました。

■職業訓練生委託事業の実施(介護福祉学科)

雇用対策の一環として平成26年度に引き続き岡山県が実施する職業訓練事業(介護福祉士養成)に申請し、受け入れ先となりましたが、今年度は、本校での訓練希望はありませんでした。

■入学金減免制度実施

指定校入試で合格した学生の入学金の一部を減免する制度を継続しました。

玉野市内の高等学校出身者で、AO入試、特別入試で合格した学生への入学金の一部を減免する制度を継続しました。

■看板設置

玉野市を訪れた方々へ玉野市内にある唯一の高等教育機関であることをアピールするために最寄りの宇野駅と瀬戸大橋線から宇野線に乗り換える拠点である茶屋町駅に看板を設置し、広く認知度向上に努めました。

■多様なオープンキャンパスの実施

平成26年度オープンキャンパスの開催日数、及び内容を継続し、高校生に魅力あるイベントを実施しました。

また、山陰、姫路、福山方面からの受験者の確保を目指し送迎のためのバスを運行しました。

人事・組織

■適切な人材の確保、配置

看護師、保健師、介護福祉士、理学療法士および作業療法士の養成校として法令を遵守し、基準に基づいた教職員を確保し、適切に配置しました。

また、教育効果を最大限に考慮し、実務のスペシャリストを講師として迎え入れ、充実した講義の実施に努めました。

主な行事

4月4日	入学宣誓式
4月25日	津山出張オープンキャンパス
5月9日	宣誓式(保健看護学科)
5月16～17日	たまの港フェスティバル
5月24日	第1回オープンキャンパス
6月1日	AO入試エントリー受付
6月27日	第2回オープンキャンパス
7月3日	国際交流(外国人研修団受入)
7月18日	第3回オープンキャンパス
8月1日	第4回オープンキャンパス
8月29日	第5回オープンキャンパス
9月5日	教育・進路懇談会
9月3日～14日	海外研修(アメリカ合衆国)
9月26日	第1回入試説明会
10月24日	優勇祭(学校祭)
11月14日	推薦入試Ⅰ期
12月5日	推薦入試Ⅱ期、社会人入試Ⅱ期
12月12日	第2回入試説明会
12月18日	壮行式(理学療法学科・作業療法学科)
1月7日	鏡開き
1月23日	一般入試Ⅰ期
2月14日	国家試験 受験(保健師)
2月16日	国家試験 受験(看護師)
2月27日	一般入試Ⅱ期
2月28日	国家試験 受験 (理学療法士・作業療法士)
3月5日	非常勤講師連絡会議
3月10日	卒業証書授与式
3月18日	実習指導者連絡会議
3月26日	第6回オープンキャンパス

学生・教職員数

■在籍学生数

(平成27年5月1日現在)

課程・学科名		入学定員	入学者数	収容定員	在学者数
医療専門課程	保健看護学科	40	43	160	161
	理学療法学科	40	39	160	151
	作業療法学科	40	26	160	103
	計	120	108	480	415
教育・社会福祉 専門課程	介護福祉学科	40	20	80	44
	計	40	20	80	44
合 計		160	128	560	459

(単位：人)

■卒業生数等一覧

(平成27年度)

区分	卒業生	就職希望者 A	就職者 B	就職率 B/A	進学者	退学者・ 除籍者	休学者	留年者 ※
玉野総合医療専門学校	94	94	91	97%	0	37	3	33

※ 修業年限を超えて在籍している学生数 (平成28年4月1日現在)

(単位：人)

主な就職先	岡山医療センター、心臓病センター榊原病院、岡山リハビリテーション病院 四国こどもとおとなの医療センター、福山医療センター、松江医療センター 他
-------	--

■教職員数

(平成27年5月1日現在)

校長	副校長	教員	教員 計	事務職員
1	1	30	32	8

(単位：人)

財務関係

■事業活動収支

(単位：千円)

年度 科目		27年度 決算額	前年度 決算額(※1)
教育活動収支	収入		
	学生生徒等納付金収入	488,816	479,260
	経常費等補助金	25,039	24,083
	その他収入	13,687	20,645
	計	527,542	523,988
	支出		
	人件費	393,797	370,487
教育研究経費	107,572	114,674	
管理経費	40,855	42,105	
その他支出(※2)	42	798	
計	542,267	528,063	
教育活動収支差額		-14,725	-4,076
教 活 外	収 受 取 利 息 等	29	*
	支 借 入 金 利 息 等	0	*
	教育活動外収支差額	29	*
経常収支差額		-14,696	-4,076
特 別	収 資 産 売 却 差 額 等	0	*
	支 資 産 処 分 差 額 等	0	*
	特別収支差額	0	*
基本金組入前収支差額		-14,696	-4,076
基本金組入額合計		0	0
当年度収支差額		-14,696	-4,076

※1 前年度決算額は、新会計基準の該当科目に反映させた

※2 * 「教育活動収支」の「その他収入・支出」に含めた